

自然保育活動 活動報告書

学校法人藤本学園 河戸こども園

活動について

- ・年間を通して2か所の畑で野菜の栽培と、毎年プランターで稲の栽培をしています。収穫した野菜を月に1度設定している白ご飯の日に園内で調理して喫食しました。
- ・隣接の寺の境内・2か所の畑を自然フィールドとして活動しており、樹木につく虫やフィールド内に生息している生き物の観察、落ち葉や花を使っての製作や遊びを体験しました。
- ・園庭のため自然フィールドではありませんが、園庭の真ん中にある柿の木に季節の移ろいを感じ、昔ながらの収穫体験をし、恵みを喜び、落ち葉拾いの楽しさを味わいました。

環境構成について

- ・近隣の方のご厚意で休耕地を借りて施肥を行い、年間を通じて畑作りを行っています。
- ・作物のない時期に畑に生える草花は、耕作時期ぎりぎりまで茂らせたままにして活動の場としています。
- ・畑周りの草地での活動のために、子供たちの背丈を超える草を刈り、石積みや用路の安全確認を行い、鹿や狸、穴熊等の獣害対策のネットを設置しました。
- ・稲づくりのためのプランターを準備し、園庭の隅に設置しました。

印象的だった事例について

園庭の真ん中にある1本の柿の木。今年もたわわに実を付けました。

子どもたちと一緒に昔ながらの竹ざおで実をもぐと、「どうして落ちんの？」不思議で面白くて大興奮でした。

夏には落ちた青い実であそび、熟れた実は味わい、落ち葉で製作をしました。



柿の実採ってしまって木が寂しそうなので柿の実作って貼ってみました。



今年もたくさんの作物を育てました。卒園児さんが種まきをしてくれたきぬさやの収穫から始まり、ジャガイモ・玉ねぎ・サツマイモ・夏野菜・冬野菜…。数えてみると18種にもなりました。

入園当初、土が苦手だった子どもたちもだんだんと大胆になり、夏が近づくころには畑に行くのが楽しみになりました。小さな芽が本葉になり「違う形の葉っぱが出てきたよ!」と、大発見の報告や、無理やり実を採った為に折れたピーマンの枝に「ごめんね」と謝る姿、色々なことを感じ取っているようでした。



ひと月に1度の白ご飯の日。畑の野菜で作ったおかずやお汁を食べます。自分たちが育てた野菜は格別愛おしいようで、普段苦手な敬遠している野菜をパクパク食べる子もいます。芽キャベツ・ラディッシュ等のなじみの薄い野菜もシチューやピクルスでおいしく食べました。





春 テントウムシに大歓声



もうすぐ梅雨 雨集め！



梅雨本番 水たまり大好き！



夏 ひまわりと背比べ



かぼちやの葉の傘
でっかいぞー



秋 芋づる相撲



晩秋 落ち葉の王冠

＝初めて出会ういきもの・香り・自然の音・味わい・手触り＝
子どもたちは沢山の仲間たちと一緒に四季折々の体験をしながら、
全身で季節の変化を受け止めて成長しています。
子どもたちの歓声の向こうには、いつもワクワクの発見があり、
ドキドキの活動があります。

冬 雪のお布団だよー！



そして、四季が巡り…春
畑一面のお花畑



蜜…春の味？

